平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		手話講習会				所管	福祉部 障害福祉課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 昭和56年度 [終了予定] - 年度			
		[小 柱]										
		[施 策]										
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区障害者地域生活支援事業実施要綱								
	事業対象	直接対象:区内在住・在勤・在学者(上級・養成は加えて進級試験合格者) 最終対象:区内の聴覚障害者										
	事業目的	手話講習会を通じて、手話のできるボランティアや、台東区の聴覚障害者に派遣する登録手話通訳者を養成することにより、聴覚障害者のコミュニケーションの円滑化を図る。										
	事業内容	<p>手話講習会を通じて、受講生の手話技術の習得や聴覚障害への理解を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス 昼間…初級・中級・上級の3クラス 夜間…上級・養成の2クラス ・授業回数 初級・中級・上級:年間40回(5~3月) 養成:年間20回(5~11月) ・施設見学 初級、中級で実施。 ・交流会 初級・中級・上級合同で年1回、12月に実施。 										
委託の有無	一部委託	委託内容	初級・中級講座の運営委託									
補助金の有無	国・都											
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	受講者数	(人)	70	75	74	70					
		修了者数	(人)	45	60	56	45					
	成果指標	手話通訳登録者数	(人)	24	18	20	21					
	決算額	(単位:千円)			4,439	4,184	4,168					
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			5,220	4,998	4,687					
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,207	2,019	2,031					
		(単位:千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,233	2,166	2,137					
		総経費			9,660	9,183	8,855					
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0					
(単位:千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,268	1,981	2,034							
一般財源(区負担額)			7,392	7,202	6,821							
前年度から改善した事項	講師に毎回授業の報告書を提出してもらい、授業の質の向上を図った。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	4	本事業の直接対象である受講生の申込状況は、横ばい傾向にある。しかし、本事業の最終対象である区内聴覚障害者の、手話通訳に対するニーズは依然として高く、本事業により、手話通訳者を養成する必要がある。									
	効率性	3	初級・中級講座は、台東区聴覚障害者協会へ運営を委託し、効率的に運営している。									
	手段の適切性	3	手話は、音声言語と比べ、地域性が強く出る傾向がある。本事業で養成された者が手話通訳を行うことにより、地域の聴覚障害者と、より正確性の高いコミュニケーションを取ることが出来る。									
	目的達成度	4	平成25年度に手話通訳登録者が1名増えた。									
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				
手話は、聴覚障害者が地域で日常生活を送る上で、欠くことができないものである。また、聴覚障害者の社会参加促進という面でも非常に有効である。よって、今後も継続して、本事業により、手話のできるボランティアや手話通訳者を養成していく。							維持					